

印西市企画提案型協働事業 事後評価シート(比較表)

記入日 令和5年4月27日  
 記入団体名 NPO法人エコネットちば  
 ※市の場合は、所管部署名  
 記入責任者名

記入日 令和5年4月26日  
 記入団体名 都市整備課  
 ※市の場合は、所管部署名  
 記入責任者名

1. 事業概要

事業名称	竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業		
事業の実施者	実施団体名	NPO法人 エコネットちば	
	所管部署	都市整備課	

2. 事業のプロセス評価

設問	回答			
	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
Q1 申請者と関係各課との間で相談や協議を行いましたか。	①.実施した 2.しなかった			
Q2 相談や協議を行うことにより、相手方の主張について理解を深められましたか。	○			
不十分と回答した場合はその理由を、また協議時に留意した点や気になった点などを以下に記入してください。				

2. 事業のプロセス評価

設問	回答			
	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
Q1 申請者と関係各課との間で相談や協議を行いましたか。	①.実施した 2.しなかった			
Q2 相談や協議を行うことにより、相手方の主張について理解を深められましたか。	○			
不十分と回答した場合はその理由を、また協議時に留意した点や気になった点などを以下に記入してください。				

(提案書提出前)

(提案書提出前)

(アイデア審査後、最終審査前)

(アイデア審査後、最終審査前)

設問	回答			
	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
Q3 事業の詳細を協議するにあたり「企画提案型協働事業実施要領」の事業の流れや提案にあたっての留意事項を参考としましたか。	①.した 2.しなかった			
Q4 お互いの立場、置かれている状況、特性を理解できましたか。	○			
Q5 協議は対等・協力的に行えましたか。	○			
Q6 共有すべき課題について確認できましたか。	○			
Q7 互いの果たすべき役割の認識・目標の分担ができましたか。	○			
Q8 最終的な協働事業効果・事業成果について確認できましたか。	○			
不十分と回答した場合はその理由を、また協議時に留意した点や気になった点などを記入してください。				

設問	回答			
	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
Q3 事業の詳細を協議するにあたり「企画提案型協働事業実施要領」の事業の流れや提案にあたっての留意事項を参考としましたか。	①.した 2.しなかった			
Q4 お互いの立場、置かれている状況、特性を理解できましたか。	○			
Q5 協議は対等・協力的に行えましたか。	○			
Q6 共有すべき課題について確認できましたか。	○			
Q7 互いの果たすべき役割の認識・目標の分担ができましたか。	○			
Q8 最終的な協働事業効果・事業成果について確認できましたか。	○			
不十分と回答した場合はその理由を、また協議時に留意した点や気になった点などを記入してください。				

協働事業実施中

協働事業実施中

設問	回答			
	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
Q9 事業の中間報告や市担当職員が現地に赴くなど、パートナー双方が進捗状況を確認したり、自由な意見交換を行いましたか。	①.行った 2.行えなかった			
Q10 当初の課題についてより深く理解し、新たな課題を共有できましたか。	○			
Q11 当初の事業内容や協議事項に変更が生じた際、柔軟に対応できましたか。	○			
Q12 打ち合わせ事項(合意事項)は記録に残しましたか。	①.残した 2.残さなかった			
不十分と回答した場合はその理由を、また事業実施に当たって留意した点や気になった点などをご記入ください。				
現地立会いを実施し、樹木の枯損や道路の隆起、施設の劣化等について情報提供をいただいた。				
Q13 成果を広く市民と共有できるよう取り組みましたか。	○			
成果を共有するに当たり、どのような方法で情報発信を行ったか具体的に記入してください。 ・花畑の開花状況を市HPや広報いんざいで紹介、市民活動支援センターHPに掲載依頼。市内公民館・コミュニティセンターにポスター掲示をお願い、周辺地域の町内会掲示板にもポスターを掲示させていただいた。更に、近隣幼稚園や高齢者施設にポスターをお届けして、お散歩コースでの立ち寄りを声掛けご案内。地域のケーブルTVでも放映していただいた。				
Q14 役割や責任分担は適切でしたか。	①.適切 2.適切でない			
回答の理由を詳しく記入してください。 ・適時、情報提供や相談を実施。連接山林からの倒木を市に通報、即日撤去作業を実施していただいた。				
Q15 資金負担は適切でしたか。	①.適切 2.適切でない			
回答の理由を詳しく記入してください。 枯れた植栽(河津桜)の復植栽、遊歩道亀裂の仮処置等、現地立会い協議後に市で実施していただいた。				

設問	回答			
	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
Q9 事業の中間報告や市担当職員が現地に赴くなど、パートナー双方が進捗状況を確認したり、自由な意見交換を行いましたか。	①.行った 2.行えなかった			
Q10 当初の課題についてより深く理解し、新たな課題を共有できましたか。	○			
Q11 当初の事業内容や協議事項に変更が生じた際、柔軟に対応できましたか。	○			
Q12 打ち合わせ事項(合意事項)は記録に残しましたか。	①.残した 2.残さなかった			
不十分と回答した場合はその理由を、また事業実施に当たって留意した点や気になった点などをご記入ください。				
現地立会いを実施し、樹木の枯損や道路の隆起、施設の劣化等について情報提供をいただいた。				
Q13 成果を広く市民と共有できるよう取り組みましたか。	○			
成果を共有するに当たり、どのような方法で情報発信を行ったか具体的に記入してください。 広報紙やホームページで季節の花の開花情報を掲載した。				
Q14 役割や責任分担は適切でしたか。	①.適切 2.適切でない			
回答の理由を詳しく記入してください。 協働事業計画書のとおり実施することができた。				
Q15 資金負担は適切でしたか。	①.適切 2.適切でない			
回答の理由を詳しく記入してください。				

協働事業実施後

協働事業実施後

3. 事業の成果評価(事業計画書や事業完了報告書を踏まえて)

設問	回答			
	十分できた	できた	一部できなかった	全くできなかった
Q16 事業は当初の計画どおり実施できたと思いますか。		<input checked="" type="radio"/>		
実施できた点(できなかった点)を具体的に記入してください。 ・草刈り、花畑の植栽等の維持管理業務は計画通り実施完了。秋に実施予定だったイベント(コスモスふれあいまつり)はコロナ対応で中止したが、咲きそろったコスモス・ひまわりの刈り取りに花畑を開放し、楽しんでいただき好評だった。市HP掲載や公民館・コミセンにポスター掲示での広報での効果が大きい。一昨年に植栽エリアを増やした春の芝桜が見頃になり大勢の来場者が訪れて盛況だった。				
Q17 当初設定した成果目標や事業目的は達成できたと思いますか。		<input checked="" type="radio"/>		
達成できた点(できなかった点)を具体的に記入してください。 ・草刈り、花畑の植栽等の維持管理業務は計画通り実施完了。秋に実施予定だったイベント(コスモスふれあいまつり)はコロナ対応で中止し、コスモス・ひまわりの刈り取りに花畑を開放し楽しんでいただき、春には芝桜も楽しんでいただけた。				
Q18 経費の支出は適切でしたか。		<input checked="" type="radio"/>		
適切でない支出があった場合は、その内容と理由を具体的に記入してください。				
Q19 協働で事業を実施したことは、単独で事業を実施するよりも効果があったと思いますか。		<input checked="" type="radio"/>		
効果があった点や課題を具体的に記入してください。 ・訪れる皆さんに好評な芝桜の植栽エリアの除草を頻繁に実施、その効果で見事な開花となり、大勢の来場者に楽しんでいただけた。				
Q20 事業の実施により、事業計画で示した地域課題の改善につながったと思いますか。	<input checked="" type="radio"/>	1. 思う	2. 思わない	
改善が図られた点や課題が残った点を具体的に記入してください。 ・コロナ対応で外出・旅行が制限されるなか、身近な場所で癒しや憩いの時間を提供できたと思う。				

協働事業実施後

3. 事業の成果評価(事業計画書や事業完了報告書を踏まえて)

設問	回答			
	十分できた	できた	一部できなかった	全くできなかった
Q16 事業は当初の計画どおり実施できたと思いますか。		<input type="radio"/>		
実施できた点(できなかった点)を具体的に記入してください。 10月に予定していたイベントは中止となったが、その他の活動については計画どおり実施することができた。				
Q17 当初設定した成果目標や事業目的は達成できたと思いますか。		<input type="radio"/>		
達成できた点(できなかった点)を具体的に記入してください。 花畑の整備や日々の草刈り、ゴミ清掃等の活動により快適な景観維持と環境美化が図られた。				
Q18 経費の支出は適切でしたか。		<input type="radio"/>		
適切でない支出があった場合は、その内容と理由を具体的に記入してください。				
Q19 協働で事業を実施したことは、単独で事業を実施するよりも効果があったと思いますか。		<input type="radio"/>		
効果があった点や課題を具体的に記入してください。 来場者との意見交換や地元の小学校等と協力した活動により地域コミュニティの形成に寄与している。				
Q20 事業の実施により、事業計画で示した地域課題の改善につながったと思いますか。		<input checked="" type="radio"/>	1. 思う	2. 思わない
改善が図られた点や課題が残った点を具体的に記入してください。				

協働事業実施後

今後の展望

事業の今後についての見通しをご記入ください。

訪れる人の心が和む印西の花名所として、より多くの皆さんが来ていただけるよう花植えなどに工夫を凝らしながら、環境整備と維持管理に努めていきたい。  
なお、従来からの土砂流入堆積や水生植物繁茂など、課題であった調整池機能維持について、R3年度に市が調査を開始したので見守りたい。特に水生公園構想により整備したひょうたん島池(竹袋調整池)に訪れる方々が強く望んでいる水面が復活することを期待したい。

今後の展望

事業の今後についての見通しをご記入ください。

市民団体の継続した活動により、四季の花の観光名所として定着し、多くの方々のコミュニケーションの場となっている。  
引き続き団体と連携を密にし、多くの来場者が楽しめる環境づくりに取り組んでいきたい。